

平成 21 年 10 月 28 日

公立大学法人大阪府立大学
理事長・学長
奥野 武俊 様

大阪女子大学斐文会
理事長 石津 英子

要 望 書

今回、大阪府知事から要求されている三学部縮小・再編の改革に際しまして、学長の連日のご奮闘に、心から敬意を申しあげます。

別添のような、知事への要望書に追加しまして、僭越ながら学長にも以下のように要望をさせていただきます。

先日 10 月 20 日、お話を伺った際、今回の知事の改革要求について、「削減の対象になっている経済学部・人間社会学部・理学部の三学部だけの問題とはせず、全学で受け止める」とおっしゃった学長のお言葉に感激いたしました。

知事の理不尽な要求から、大学や教職員、学生を守ろうとされている学長の苦悩のご様子も伺い知ることができました。

旧大阪女子大学の遺産を守るおつもりや、斐文会員の心情を大切にしてくださっているご様子も伺いました。

三大学統合後の新生大阪府立大学の将来像を、学長は OPU Vol.4 で、「多様・融合・国際の 3 つの視点を大切に、『高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点～』の実現に向け、新生大阪府立大学はセカンドステージへ」と示されました。

新生大阪府立大学を母校として、その発展を願っている私どもは、「三大学の統合から融合へ」と、統合の成果が生かされていくことに期待を寄せておりました。

今回の知事の要求は、運営費交付金の削減が至上命令となり、コンセプトを理工系の大学とし、経済学部と旧大阪女子大学関連の二学部の削減・縮小を前提にしていると伺っております。

このような大規模な財政の削減を目的とする改革を知事の要求どおりに、わずかな期間で行うことになれば、学長や先生方の思いとは別に、結果として旧大阪女子大学の学問・研究の継続が断ち切れ、戦前からの女子の高等教育を担ってきた歴史や伝統も消滅してしまうのではないかと危惧しております。

その事態を憂慮し、私どもは学長の連日のご奮闘に敬意を表しつつも、以下のようにあらためて要望いたします。どうかよろしく願い申しあげます。

収	受
平	21.10.28
総務第	号
大阪府立大学	

要 望

1、旧大阪女子大学から新生大阪府立大学に引き継がれた、学問・研究の継続・発展を念願します。

(1) 上記を引き継いだ学科と研究の場を保障していただきたい。

(2) 同じく、文献や学術資料などの管理・保管・活用を図っていただきたい。

2、大阪府女子専門学校、大阪女子大学の歴史・伝統を集約し、保存する場を、他の大阪府立大学のルーツである諸学校とともに、設置していただくことを念願します。

旧大阪女子大学を中心に要望しておりますが、私ども斐文会は、大阪府立大学全般についても学問・研究の継承・発展を望んでおります。

今回の突然に吹き荒れる嵐を、学内が力を合わせて乗り越えていかれ、大阪府立大学が必ずや次の新しいステップに歩まれることを、切に願っております。

以 上